2020 年 4 月 6 日

各 位

スパークス・グループ株式会社
代表取締役社長 グループ CEO 阿部 修平
(コード 8739 東証第一部)

「未来創生 2 号ファンド」海洋プラットフォームを目指すアイディア社への投資実行

―船の安心と安全を支援する海洋プラットフォーム「Aisea」の事業拡大を加速―

スパークス・グループ株式会社（以下、スパークスと表記）は、2018 年 7 月に設立した「未来創生 2 号ファンド」が、船の安心と安全を支援する海洋プラットフォーム開発を手掛けるアイディア株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：下川部知洋。以下、アイディア社と表記）に対する投資（金額は非開示）を実行しましたので、お知らせいたします。アイディア社は今回の調達資金を活用し、海洋プラットフォーム「Aisea（アイシア）」の事業拡大を加速いたします。

■投資先企業の概要

アイディア社は 2017 年 11 月の創業以降、世界中の船舶を対象に船舶管制システムの開発・運用を行い、2019 年 7 月には、船舶事故の防止や操船時の安全確保を目的に海洋プラットフォーム「Aisea」の提供を開始しました。現在は内航船（国内を航行する船舶）を中心に船舶の事故防止に加えて、業務効率や人材不足の解消を目的に導入を進めており、今後も海事産業全体への導入が予想されます。更には 2025 年度の自動運航船実用化（※）を視野に入れ、海上プラットフォームの確立を目指しています。

（※）平成 30 年 6 月 1 日 交通政策審議会海事分科会海事イノベーション部会：自動運航船の実用化に向けたロードマップ http://www.mlit.go.jp/common/001237409.pdf

■「未来創生（1 号）ファンド」及び「未来創生 2 号ファンド」の概要

未来創生（1 号）ファンドはスパークスを運営者とし、トヨタ自動車株式会社、株式会社三井住友銀行を加えた 3 社による総額約 135 億円の出資により、2015 年 11 月より運用を開始しました。最終的には、上記 3 社を加えた計 20 社からの出資を受けました。「知能化技術」「ロボティクス」「水素社会実現に資する技術」を中核技術と位置づけ、それらの分野の革新技術を持つ企業、またはプロジェクトを対象に米国、英国、イスラエル、シンガポール、日本の約 50 社に投資しました。2018 年下半期には、既存投資領域 3 分野に加え、新たに「電動化」、「新素材」を投資対象とした未来創生 2 号ファンドの運用を開始しました。2020 年 2 月末時点の運用資産残高は、1 号と 2 号あわせて、1,093 億円となっています。

未来創生ファンドの投資実績：https://mirai.sparx.co.jp/investment/

■ 本件に関するお問い合わせ先

スパークス・グループ株式会社 広報室
TEL : 03-6711-9100 / FAX : 03-6711-9101
pr_media@sparxgroup.com